

科目名	ヨーロッパの文化と芸術	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

1. ヨーロッパの国々の文化・芸術と大きく関わる、神話とキリスト教についての理解を深め、各自が取り組む芸術作品の理解に役立てることを目的とします。
2. ヨーロッパの国々の文化、芸術、歴史、宗教、生活様式、慣習等について学習し、教養を身につけます。

＝履修の条件と学習の方法＝

真摯な態度で、文化を学ぶことのできる学生諸君の受講を求めます。
 高校卒業程度の世界史(特に文化史)の時代区分の知識を前提とします。
 ノートは、自分なりの方法で、しっかりとまとめておくこと。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：講義の目標や内容の確認
- 2回 ヨーロッパとは？
- 3回 ギリシア・ローマ神話 (1)
- 4回 ギリシア・ローマ神話 (2)
- 5回 キリスト教と聖書 (1)
- 6回 キリスト教と聖書 (2)
- 7回 ギリシア・ローマ神話と美術
- 8回 ギリシア・ローマ神話と音楽
- 9回 キリスト教と建築
- 10回 キリスト教と美術
- 11回 キリスト教と音楽 (1)
- 12回 キリスト教と音楽 (2)
- 13回 予備
- 14回 まとめ
- 15回 テスト
- 16回 テスト

＝成績評価の方法と評価の基準＝

評価は、周到な予習・復習に基づく能動的な授業への参加がなされているか否か、また、その結果としての習熟度がどうであったかで行ないます。

つまり、テスト・レポートの成績及び平常点、出席状況を勘案して評価します。

テストは、二部構成で実施し、第一部は、講義の最終回に実施し、第二部は、試験期間の所定の日を実施します。この2日間の試験を必ず受験してください。

第一部では、自筆のノート持ち込み可で、ペーパーテストを実施します。

第二部では、ペーパーテストの返却講評と、確認テスト(原則として持ち込み無し)を、行ないます。

具体的実施方法については、講義中に説明します。

＝テキスト(必携)＝

必要に応じてプリントを配布します。